

平成30年度 第3回国立大学法人静岡大学学長選考会議議事録

日時 平成30年9月26日（水）15時47分～17時35分
場所 事務局4階学長応接室
出席者 塩田，塩尻，栗村，鳥居，細井，菅野，近藤，川田の各委員
陪席者 鈴木，村松監事，堀川事務局長，田中総務部長
事務局 望月総務課長，秋山総務課副課長

I 前回議事録の承認

資料1により，平成30年度第2回国立大学法人静岡大学学長選考会議（平成30年6月27日開催）議事録（案）を承認した。（資料1）

II 審議事項

1 平成29年度静岡大学学長の業績確認について

（1）業績確認の実施とスケジュールについて（資料2）

事務局から，資料2により，平成29年度学長の業績確認の実施方法及びスケジュールについて説明があり，これを確認した。

（2）5つの確認区分ごとの学長の業績について（資料3，参考1，2）

議長から，平成29年度学長の業績確認については，各委員に5つの確認区分（教育，研究，社会連携・地域貢献，国際交流及び大学運営）ごとに業績確認をしていただき，資料3のとおり取りまとめた旨報告があった。

続いて，事務局から，5つの確認区分ごと複数の委員から特に評価の高かった次の取組みについて説明があり，意見交換の結果，これを確認した。

なお，この結果を業績確認書（素案）として取りまとめ，次回本会議までに各委員は素案の確認を行うこととした。

①教育：特に評価が高かった取組み

- 山岳科学教育プログラムの開始
- 障害を持つ学生への支援体制の整備
- 地域志向科目の創設等による科目メニューの多様化
- 地域創造教育センターの設置
- 光医工学共同専攻設置認可と開設準備
- オンライン教育体制の整備

②研究：特に評価が高かった取組み

- 光医工学共同専攻設置認可と開設準備
- 本学の強みを活かし，重点研究3分野（グリーンバイオ科学，光応用・イメージング，環境・エネルギーシステム）として，全学的な推進体制を展開

③社会連携・地域貢献：特に評価が高かった取組み

- 地域創造教育センターの設置
- 地域志向大学宣言
- 未来の科学者養成スクール（F S S）の開始グローバルサイエンスキャンパス「つなげる力で羽ばたけ未来の科学者養成スクール」に採択
- 産学官連携によるセルロースファイバー研究「ふじのくにセルロースナノファイバー（CNF）寄附講座（農学部）」を開設

④国際交流：特に評価が高かった取組み

- グローバル人材の育成を目的とする教育プログラムの充実，留学生の受け入れ，英語教育の導入，海外大学との連携など国際交流の進展
- A B P（アジアブリッジプログラム）の推進
- 留学生向け就職支援の整備
- グローバル対応組織の全学的再編に向けた国際連携推進機構の設置

⑤大学運営：特に評価が高かった取組み

- 「未来を拓く静岡大学～ビジョンと戦略」を「静岡大学の理念と目標」に改めて制定
- スペースチャージ制の導入
- 浜松キャンパス事務部の設置
- 情報発信の強化のため，学長の定例記者会見の開催

(3) 次回会議における学長へのヒアリング項目について（資料3）

議長から，資料3により，次回会議で実施する学長へのヒアリングで，取り組みへの要望事項や期待したい事項について各委員から説明があり，意見交換の後，事項をとりまとめ，事前に確認のうえ，ヒアリングに臨むことを確認した。

2 次回会議の流れについて（資料4）

事務局から，資料4により，次回会議の流れについて説明があり，①学長へのヒアリングを実施し，その結果を踏まえて，5つの確認区分ごとに取りまとめた業績確認書（素案）に加筆・修正を行う。②①を踏まえて，業績確認区分等の「次期静岡大学長の選考に係る基準」「1. 学長に求められる資質・能力」についても確認し，次回本会議で審議とする業績確認書結果（確認概要）（案）作成時に反映させることを確認した。

3 その他

次回の開催について

日時 平成30年11月28日（水）経営協議会終了後

場所 静岡キャンパス事務局4階学長応接室

以上